



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

UR住宅のエレベーター設置を 要望してきました

日本共産党



URに要望する大島よしえ都議、吉良よし子さん

私(伊藤和彦)は、住民のみ
なさんとともに4月26日、U
R住宅のエレベーター設置につい
て要望してきました。

これは足立区議団が大島よし
え事務所、吉良よし子事務所と
連携して行ったものです。
西新宿にある東日本賃貸住宅
本部(新宿アイランドタワー1
8階)を訪ねて栗原団地、江北
団地、花畑団地の団地再生事業
について10項目にわたって担
当者と懇談、要望してきました。

UR都市機構からは山田秀之
チームリーダーはじめ4名が対
応しました。栗原団地、江北団
地のエレベーター設置について
は、「バリアフリー化を推進し
ているが国の支援と経営負担が
あるので多くは設置できない。
今のところ計画は
ない」
と回答でした。



快晴の空のなかで泳ぐ鯉のぼり(西保木間・4月28日)

既存中層住宅へのエレベーター 設置などのURの実績(H23年度)

急速な少子高齢化に対応し、団地のバリアフリー化を推進するため、国の支援を受けつつ、お客様から要望の多い中層住宅へのエレベーターや新たな取組みとしての階デッキ設置などに取り組んでいる。

エレベーターについては、平成22年度に計画した全国11団地29棟70基の設置工事を進め、69基が平成23年度中に使用開始。(累計で76団地224棟517基約7.5千戸)。

新たな取組みとして平成22年度より、1階住戸のバリアフリー環境を実現する1階デッキの試行的設置を実施し、全国5団地10棟で9基を設置

平成23年度末時点で、高層住棟を含めた全ストック約756千戸のうち約406千戸(53.7%)がエレベーターあるいは1階デッキを設置済(1階デッキ設置済戸数は74戸)



計画はわずか15カ所

URのエレベーター設置など バリアフリー化方針(中期計画より)

バリアフリー化を図った住宅の供給

第三期中期目標期間の最終年度である平成30年度までにUR賃貸住宅ストック全体に占めるバリアフリー化を図った住宅(2箇所以上の手すりの設置、屋内の段差解消及び車椅子で通行可能な広い廊下幅の確保の全部又は一部がなされた住宅)の割合を約55%とするため、既存のUR賃貸住宅の改善や建替え等により、在宅長寿対応住宅(加齢により身体機能が低下してもできる限り長期に継続居住が可能なように在宅での介護に配慮した住宅)を含むバリアフリー化を図ったUR賃貸住宅を新たに供給し、中期目標期間中にバリアフリー化を図った住宅の割合をUR賃貸住宅ストック全体の約48%とする。

また、エレベーター設置が可能な中層住宅について、エレベーターを設置し、住宅へのアクセスのバリアフリー化を推進する。

URにエレベーター設置実現を求め 力を合わせてがんばります

都住の縦階段でもエレベーター設置が進んでいます。URは要望の強いところからエレベーターの設置を進めているようです。UR団地の中層住宅にもエレベーター設置が実現できるよう力を合わせてがんばります。



吉良よし子 大島よしえ 伊藤和彦

毛長川の橋梁建設について



4月25日、区議団はまちづくりについて住民のみなさんから寄せられている「木造密集地域『不燃化10年プロジェクト



大島よしえ都議と伊藤和彦区議

都第六建設事務所に要望

『の都市計画道路事業や電柱地下化、橋梁建設などについて大島よしえ都議と連携して東京都第六建設事務所（千住東2・第二区画整理事務所）に行き要望し懇談しました。

住民から問い合わせのある毛長川の橋梁建設については、約3年前に地元説明会がありました。が、工事着工にはならないままになっており今後の建設計画予定について聞きました。
区画整理事業が進み補助257号道路の北、花畑と草加市を結ぶ毛長川橋梁建設はいつ着工するのか。建設予定計画を住民に明らかにすること。住民合意を基本に必要な関連用地の買収も行い建設を進めることを求めました。
都は「橋梁建設は土地取得が遅れて工事が遅れていることは承知している」。去年7月に沿道の

伊藤ニュース、1000号おめでとう！



先週の伊藤ニュースを読みました。いつも読んでますよ。1000号発行おめでとうございます。

災害時に応急対策できるように区と協定書交わし、土建足立支部の分会でレスキュー隊ができたこと心強く思いました。

土建のみなさんがどんなきっかけでレスキュー隊をつくる事になったのか、知

りたいので教えてください。（Sさん）

ニュースを読んでいただきありがとうございます。東京土建足立支部に聞き、発足式・編集資料には、足立区と災害協定を結ぶ前に地域・建設職人のキーワードを研究中に、3・11大災害が起きました。

土建足立支部は大震災支援することで縁ができて、岩手県宮古に現地支援、視察をするなかで宮古建設組合の被災時行動を学び、交流して貴重な資料や写真を提供してもらい、このほど足立区と災害協定を結び、土建分会レスキュー隊を結成したものです。（伊藤）

1000号おめでとうございます。最近、読者になった人から『伊藤区議がたった一人で宣伝していた時代から知っている。たいしたものだと昔から思っていた。共産党をずーと応援するからがんばって欲しい』と言われました。対話の材料になっていますが、ニュースを発行し続けることは大変なことです。継続は力です。

私は「生きている限り、生き抜く」をモットーにしています。何年前に伊藤区議からもらった年賀状に「生涯現役」も大切にしています。平和と暮らしをよくするためロマンある活動を続ける決意です。がんばってください。（西保木間・前田道美）



住民にはチラシを配った「土地の取得は一部で行なっているが、具体的には個別で対応したい」と回答しました。

質問 日本共産党のこと、財源はどうしているのですか、教えてください（花畑 Tさん）

答え 日本共産党は全国各地に2万をこす党支部を持って、草の根で活動しています。党員は32万人。2700人以上の地方議員がみなさんの身近で活動しています。



活動資金は『しんぶん赤旗』の売り上げや個人からの募金など、国民からの浄財だけで運営しています。政党助成金はもちろん受け取っていません。企業や労働組合、教団など「スポンサー」の意向に左右されずに、政策を曲げたりしません。資金面でも国民に根ざした政党です。（伊藤和彦）